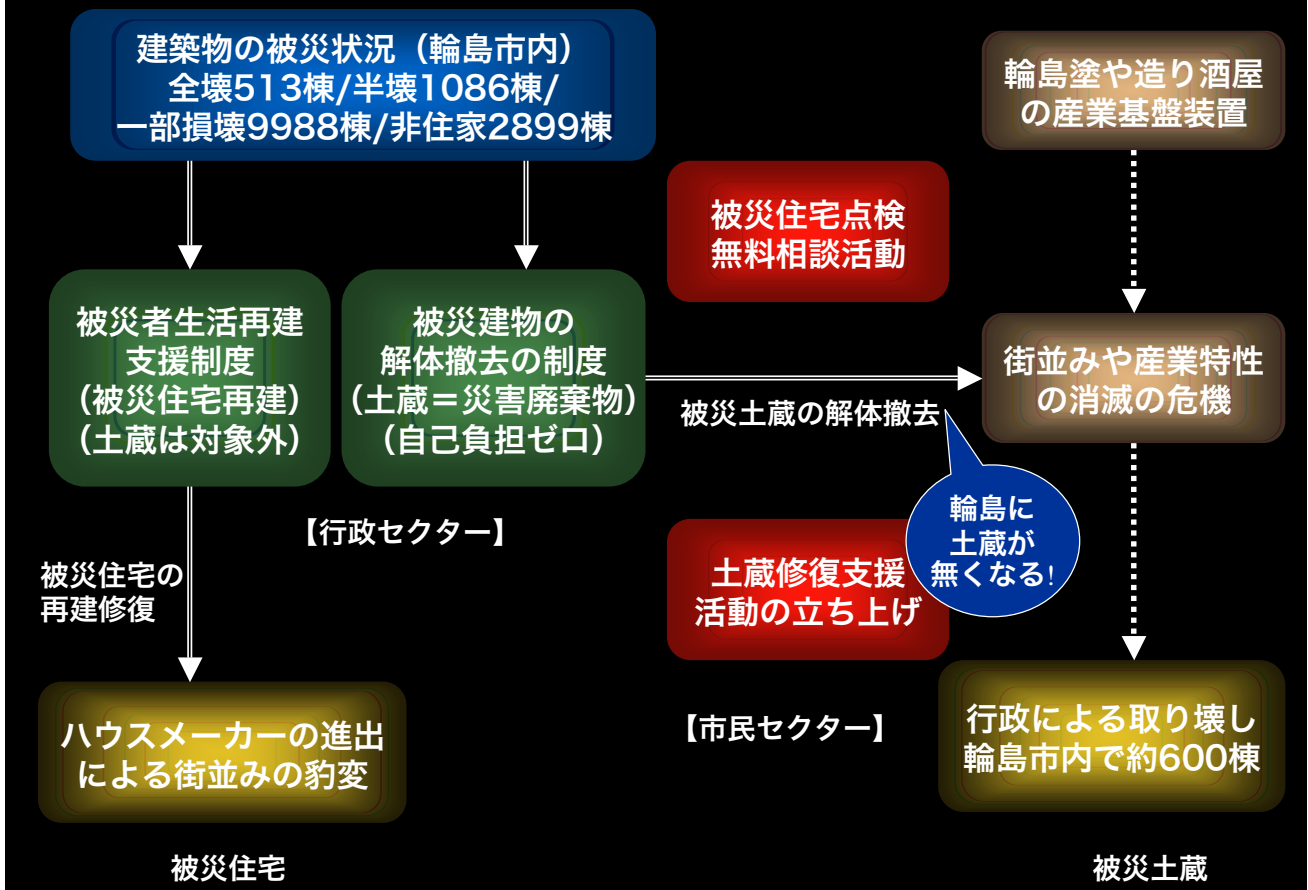


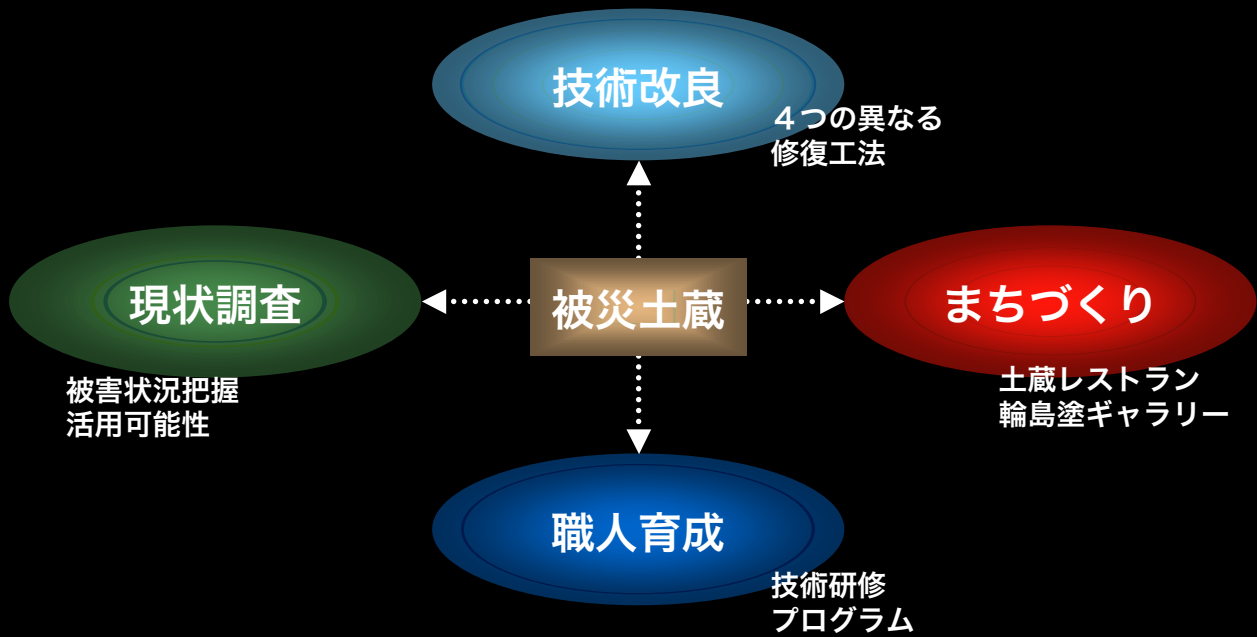
震災復興まちづくりの担い手

NPO法人輪島土蔵文化研究会
理事長
水野雅男

なぜ市民活動が必要なのか？



社会的課題解決に向けた市民活動の展開



現状調査

損壊した土蔵の点検調査活動 07年4月



4月14/15日 左官職人グループが 関西から駆け付け、約20棟の土蔵を点検調査

土蔵修復支援のための被災状況と活用意向調査活動 07年4~5月

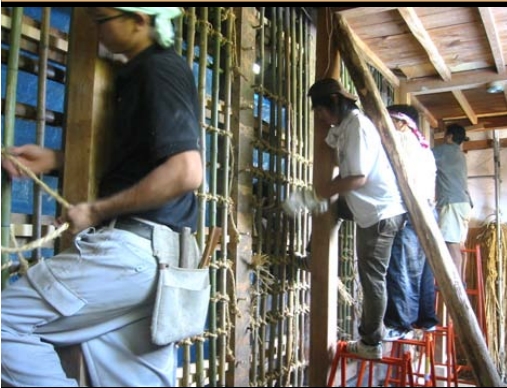


4月28日-5月5日 県内外のボランティア約70名が、39軒74棟の土蔵を点検調査



技術改良

伝統的な土壁に近い工法 2007年7月～08年10月【大崎邸土蔵】



丸竹を縦横に並べ「竹小舞」を
搔く 約100人日の作業



泥団子を作って現場へ運び込み
竹小舞目掛けてカー杯「手打ち」



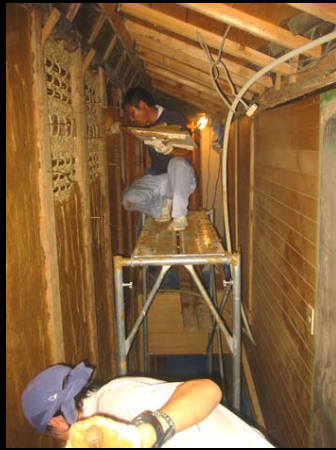
「手打ち」
の次は
「大直し」
若手職人は
技術を教わる
絶好の場と
なっている



壁厚を薄くする工法 2007年7月～08年8月【大工邸土蔵】



割竹を密に編み込む
竹小舞



混ぜ合わせたままの土を
現場にバケツリレーで運搬
左官職人5人で塗り付け



従前は収蔵庫だった空間は
ギャラリーに生まれ変わった

日干し煉瓦による部分的な修復工法 2007年7月～11月【古窪邸土蔵】



泥を踏んでこねる
型枠の中へ入れて
煉瓦を抜き取る



約2週間天日で乾燥、漆喰で繋ぎながら積み上げていく



塗り壁工法 2009年6月～11月【小西邸土蔵】



裏から板を当てて
一段ずつ塀を築く
1ヶ月で乾いたら
上に積み上げる



職人育成

第1回技術研修プログラム 小舞かき 2009年1~4月



指導者に見守られ、
手ほどきを受けながら
技術を習得していく

1月から毎月2回開催

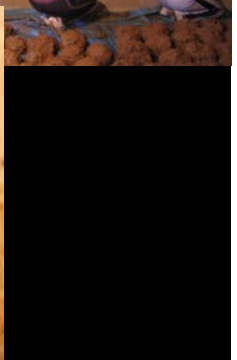


第2回技術研修プログラム 手打ち技術 2009年5月



手渡しで団子をリレーする

最後は左官職人が鏝で均し檜垣を付ける



第3回技術研修プログラム 樽巻き・むら直し 2010年6月～8月



縦縄 → 横縄 → むら直し

第4回技術研修プログラム 漆喰づくり・中塗り 2010年9月





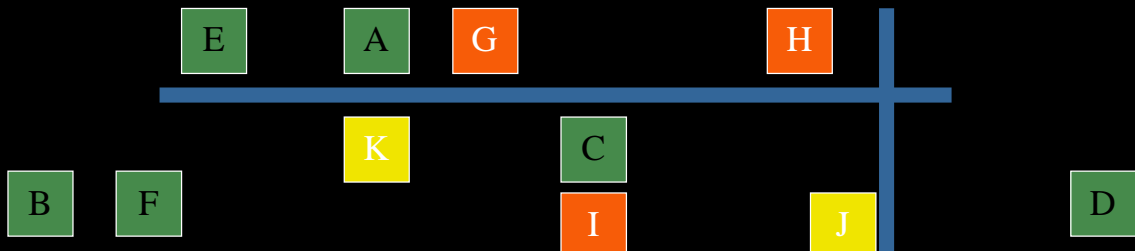
まちづくり

修復土蔵による新たなコミュニティ創出のイメージ

- **オーナーが自己負担で修復する土蔵** 技術的な支援・労働力の提供
- | | | |
|-----|-----------------------|------|
| 土蔵A | 塗師蔵（上塗り＋収蔵＋展示）・塗師屋大崎邸 | ほぼ完成 |
| 土蔵B | 塗師蔵（上塗り＋収蔵＋展示）・塗師屋大工邸 | 完成 |
| 土蔵C | 私的空間（音楽演奏＋寝室）・元塗師屋古窪邸 | 完成 |
| 土蔵D | 塗師蔵（収蔵＋展示）・塗師屋小西邸 | ほぼ完成 |
| 土蔵E | ギャラリー（展示）・蒔絵師西塚邸 | 未着工 |
| 土蔵F | 酒蔵（熟成貯蔵）・清水酒造 | 未着工 |

- **NPO法人がオーナーから定期借用（無償）修復活用する土蔵**
- | | | |
|-----|----------------------|---------|
| 土蔵G | レストラン＋コミュニティガーデン・七尾邸 | 来春完成予定 |
| 土蔵H | 左官技術研修場（日左連と協働）・天野邸 | 数年後完成予定 |
| 土蔵I | ライブラリーカフェ（寄贈書物）・古窪邸 | 工期未定 |

- **市が修復する土蔵** 技術的な支援
- | | | |
|-----|------------|----|
| 土蔵J | 交流サロンいろは蔵 | 完成 |
| 土蔵K | 集会交流拠点・船木邸 | 完成 |



活動資金の確保 器再生と「土蔵へどうぞII」



土蔵から戦前の在庫を救出
所有者から譲渡してもらう



漆芸研修所の研修生が職人から技術指導を受けて中塗りまで仕上げる
研修生、職人には手間賃を支払った
その後、職人が仕上げ作業をし完成 ▶
寄付者に「土蔵からのプレゼント」贈呈

